

鷺森別院で2日間の大法要□1  
仏教いろは問答□2  
組長・教区会議員など改選□3  
法要・行事・研修会報告□4  
特集・昨年11月の大法要□6  
2023年度、2024年度決算□8  
重点プロジェクト□9  
新期宗会議員決まる、予算□10  
得度・教師・敬弔、人事□11  
響流十方、別院の催し□12



2025年(令和7年)  
10月1日  
第136号

発行：「御同朋の社会をめざす運動」和歌山教区委員会 〒640-8053 和歌山市鷺森1番地 本願寺鷺森別院内 TEL(073)422-4677 URL http://saginomori.or.jp/

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要 本堂再建30周年記念法要

# 鷺森別院で2日間の大法要



升巴輪番が導師を務め内陣と余間に17人が出勤、雅楽も入り盛大に勤められた初日の法要

**本堂にお参りできる尊さ、改めて実感**

「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要 本願寺鷺森別院本堂再建30周年記念法要」が昨年11月24、25両日、鷺森別院本堂で勤修された。両日とも一座の法要のほか、記念講演、帰敬式などに多く参拝者が集った。

## 令和7年8月豪雨 災害義援金にご協力ください

2026年(令和7)8月6日から13日の記録的大雨により、浄土真宗本願寺派でも熊本別院や一般寺院46カ寺(熊本41・山口3・鹿児島2)、100カ寺から報告のあった門信徒宅などで雨漏り・床上浸水・土砂流入などの被害が出ている。このため宗派では義援金を募っている。鷺森別院や各寺院にお寄せいただくか、下記の口座宛てにお送りください。

【郵便振替】01000-4-69957、加入者名=たすけあい募金。

【銀行振込】ゆうちょ銀行一〇九店、(当座)0069957、名義=たすけあい募金。

※郵便振替、銀行振込とも、通信欄に「令和7年8月豪雨 災害義援金」とご記入ください。

【問い合わせ】本山社会部〈災害対策担当〉、電話075 (371) 5181。

鷺森別院では1990年(平成2)4月21、22両日、「頭如上人四百回忌法要・紀州門徒殉難者総追悼法要」を勤めたが、その法要の記念事業として本堂再建計画を策定。戦後間もない1948年(昭和23)に建てられた当時の本堂の老朽化を考慮しての再建計画だった。計画は多くの方々の懇念によって実を結び、1年7カ月の工事期間を経て、1994年(平成6)10月4日に現本堂が竣工。総工費は、附属建物を含め9億5188万1638円という

大事業だった。竣工翌年の1995年(平成7)4月8、9両日には、大谷光貞門主(現前門さま)ご親修による本堂落成慶讃法要を勤修。竣工から22年経った2016年(平成28)5月15日には「本堂再建20周年記念法要」をお勤めした。そして竣工から30周年を迎えた昨年の大法要は、親鸞聖人がご誕生されて800年、浄土真宗を開かれて850年という大きな節目に、鷺森別院本堂にお参りし、共にお念仏の教えを聞くことのできる尊さを改めて実感するご縁となった。

〈⑥⑦面に特集記事〉

### 郷流十方

10〜3月の催し

本山

10月15〜16日 龍谷会(大谷本願報恩講法要)

11月22〜23日 秋の法要(全国門徒総追悼法要)

12月20日 御煤払

12月31日 除夜会

1月1日 元旦会・修正会

1月8日 大御身(親鸞聖人御真影の御身拭い式)

1月9日〜16日 御正忌報恩講法要

2月7日 如月忌(九條武子さまの祥月命日法要)

3月17〜23日 春季彼岸会

### 和歌山教区

10月2日 ビハーラサロン

10月6日 勤式講習会(一般寺院の報恩講に用いる勤行・三奉請、先請伽陀、四句念仏、回向など)

10月30日 近畿地区仏教婦人会大会(和歌山城ホール)

11月10日 布教団連統法座

### 教区内各組

12月4日 ビハーラサロン 1月17〜18日 第3連区仏教壮年会セミナー

1月24〜25日 仏教青年連盟第3ブロック研修会(白浜・ホテルシーモア)

1月29日 布教団連統法座

2月5日 ビハーラサロン ※場は記載がないかぎり鷺森別院です。

### 和歌山組

9月29〜30日 念仏奉仕団(西本願寺)

10月7・14・21日 11月4・11・18日 「お寺へイコラス」歌唱練習(念書等)

12月6日 実践運動「人権啓発推進僧侶寺院研修会」・組内会(鷺森別院)

12月20日 キッズサンカ

12月と3月 実践運動「お供えのおすそわけ」

12月14日 組内会(正善寺)

1月または2月 実践運動「人権啓発推進僧侶研修会」(鷺森別院)

### 和歌山西組

12月14日 組内会(正善寺)

1月または2月 実践運動「人権啓発推進僧侶研修会」(鷺森別院)

**和歌山北組** 12月上旬 僧侶研修会

**海南組** 12月8〜9日 第5回念仏奉仕団(西本願寺)

1月24日 人権啓発僧侶・寺院研修会(西法寺)

**海草組** 未定 寺院女性会研修会、総代会研修会、仏壮会研修会、念仏奉仕団

**伊那組** 10月22日 寺院女性会研修会(京都市)

10月 勤式講習会(光円寺)

12月 組内会(光円寺)

1〜3月の間 人権啓発僧侶研修会(光円寺)

**有賀組** 12月6日 組内会

未定 実践運動「人権啓発推進僧侶寺院研修会」

**有田南組** 9月17日 第9期連統研修会②(寶林寺)

未定 僧侶・寺院研修会(会場未定)

2月 実践運動推進委員会(4月4日キッズサンカ実施のための準備委員会)

**日高組** 10月6日 組報編集会議(善宗寺)

11月1日発行号

12月14日 葛添座(雷電寺)

12月20日 組内会(教専寺)

2月2日 組報編集会議

(3月1日発行号)

2月14日 組内会、実践運動推進僧侶委員会(専福寺)

3月7日 実践運動委員会

**鷺森別院の催し**

■常例法座 10月15、16日 森祐真師(豊中市岡町北・浄久寺)。11月15、16日 安堂芳雅師(宇治市木幡北畠・西光寺)。12月15、16日 藤澤彰祐師(東近江市甲津畑町・浄光寺)。2026年(令和8)1月15、16日 佐々木紀彦師(有田郡有田川町吉原・教念寺)、2月15、16日 井上浩義師(兵庫県加古川郡播磨町吉田・正願寺)、3月15、16日 荒木いずみ師(奈良県吉野郡大淀町大岩・西照寺)。いずれも午後1時30分からお勤め、引き続き3時ごろまで法話を聴聞する。

■報恩講 11月24〜28日、宗祖親鸞聖人の祥月命日をご縁として恒例の報恩講を本堂でお勤めする。

法要は27日までは午後1時30分から、28日は午前10時から。お勤めに引き続き、大野孝顕師(大阪市北区中崎西・正宣寺)の法話を聴聞する。

27日は教区布教団主催の

(妙願寺) 3月28日 組会(長寛寺)

**紀南組** 10月9〜10日 第11回門徒通夜布教。教区内から布教使数人が出講し、翌午前零時ごろまで法話のリレー。24日と27日は、和歌山組仏教婦人会連盟が「ターナ活動」で手作りした日用雑貨などを販売。

各教化団体の参拝奨励日は24日 寺院女性会、25日 仏教壮年会、26日 門徒総代会、27日 仏教婦人会、28日 門徒推進員。

■元旦会 2026年(令和8)1月1日、元旦会を本堂で。午前7時から正信念仏偈を行誦でお勤めし、輪番が年頭あいさつ。

■春季彼岸会 2026年(令和8)3月20日、本堂で。午後1時30分から仏説阿弥陀經をお勤めし、引き続き永原智行師(日高郡由良町・教専寺)が法話。(本願寺鷺森別院 和歌山市鷺森1番地 電話073142214677)

**日高別院の催し**

■常例法座 10月15、16日 森祐真師(豊中市岡町北・浄久寺)。2026年

総代会念仏奉仕団(西本願寺) 未定 門徒総代会研修(報恩講参拝)

(令和8)1月15、16日 佐々木紀彦師(有田郡有田川町吉原・教念寺)。いずれも午後1時から本堂でお勤め、引き続き2時15分まで法話。

■報恩講 12月5日から7日の3日間、恒例の報恩講を本堂で。お勤めは午後1時30分から。引き続き、長谷川義則師(海南市名高・安養寺)の法話を聴聞する。

■除夜会・元旦会 12月31日、午後11時30分から除夜会を本堂でお勤め。年が明けた2026年(令和8)1月1日午前零時ごろから元旦会をお勤めし、輪番が年頭あいさつ。

■春季彼岸会・御坊市日高郡戦傷病没者追悼法要 2026年(令和8)3月17日、春季彼岸会を本堂で。午後1時から仏説阿弥陀經をお勤めし、2時15分まで職員が法話。例年と同じく「御坊市日高郡戦傷病没者追悼法要」を併修する。(本願寺日高別院 御坊市御坊100番地 電話073812210518)



**得度**  
2024年3月15日 鈴木一世(和歌山組念誓寺)  
2024年6月15日 蘭田香誠(和歌山組妙慶寺)  
2024年12月15日 津村晃照(加茂組西福寺)  
野口亜由美(紀南組光顔寺)  
2025年2月15日 島本裕里(和歌山西組寛圓寺)  
2025年3月15日 雑賀ひかり(和歌山組円明寺)  
2025年6月15日 西川弥生子(和歌山北組貞稱寺)  
2023年9月26日 中岡俊晃(海南組願成寺)  
2024年2月28日 西殿恵美子(和歌山組西正寺)  
2024年5月8日 楠山顕也(御坊組浄専寺)  
2024年7月12日 山高貢平(伊那組玉川寺)  
2025年2月21日 中原優(有田北組教連寺)  
梶信敬(紀南組正念寺)  
2025年6月4日 亀井大慈(日高組長覚寺)  
鷲山和希(和歌山組西慶寺)

**敬弔**  
2025年6月26日 鈴木一世(和歌山組念誓寺)  
2024年2月16日 島和也(和歌山組西覺寺・衆徒)  
2024年3月8日 山高アツ子(伊那組玉川寺・坊守)  
2024年3月29日 佐々木智晃(紀南組尊光寺・坊守)  
2024年4月1日 祇園秀宣(加茂組西方寺・住職)  
2024年4月23日 藤範千鶴子(和歌山北組照福寺・坊守)  
2024年6月26日 吾勝アツ子(加茂組眞教寺・坊守)  
2024年6月27日 山本勝人(和歌山北組浄永寺・前々住職)  
2024年7月14日 平林幸恵(有田南組福藏寺・



下間優樹新職員



近藤生信新職員



藤井諦伸新職員

「8月末まで築地本願寺に4年5カ月奉職しておりました。築地では別院業務として伝道企画情報システム担当で4年、法要行事部で2カ月間ほど仕事をしておりました。趣味はライブ鑑賞、映画鑑賞ですが、最近はずむに通っています。教務所業務は初めてですが、精いっぱい頑張ってますので、これからよろしくお願いします」。

**退職** ▽2024年3月31日付 神谷暁生(紀南組勝徳寺住職) ▽契約職員 2022年4月1日から2年間勤務した。

**再入職** ▽2025年2月7日付 横田顕悟(30歳、和歌山北組教願寺衆徒) ▽非常勤職員。2022年12月21日から2024年3月31日まで1年3カ月余り勤務し退職したが、再入職。

**異動** ▽2025年7月1日付 花田和樹(52歳、海草組教了寺住職)、浄土真宗本願寺派宗務所寺院活動支援部へ(事務職員)。

2024年4月1日から1年3カ月間、日高別院副輪番・認定子ども園御坊幼稚園園長・和歌山教区教務所事務職員・鷲森別院一般職員を務めた。

# 若葉と純真の

9



## ▽阿弥陀さまの願いは究極のおせっかい!?

ある秋晴れの日、若葉は純真に案内されて初めてお寺の本堂に入った。純真 こちらがご本尊の阿弥陀さまだよ。

若葉 おお、初めて見ましたけどピカピカですね。純真 ほくたちを光で包み込んでくれている仏さまだからね。それと真横から見ると分かるんだけど、実は少し前に傾いてるんだ。

若葉 えっ、直さなくていいんですか？

純真 大丈夫、老朽化して傾いてるわけじゃないから(笑)。ところで、もし若葉さんのもっとも大切な人が崖から落ちそうになっていたらどうするかな？

若葉 そりゃ「危ない!」と言って捕まえますよ。

純真 そうなんだ…ぼく



母さんが自慢したいとかもあるんじゃないのって。

純真 うんうん、もしかしらそれもあるかもしれないね。でもお母さんが若葉さんの幸せを願ってるのは間違いないと思うよ。

若葉 それは分かりますが、私だって少しぐらい自分の将来の事は考えてますし、おせっかいといつか。

純真 いやあ、そういうことでいうと阿弥陀さまの願いは究極のおせっかいと思われるかもしれないね。ぼくたちが仏になりたいなんて思ったこともないのに、阿弥陀さまはそんなことおかまいたしで何としてもぼくたちを「仏にさせる」とおっしゃるんだから。

若葉 ……うん…でも阿弥陀さまは私にとってそれが一番いいと知っておられるということですよ。どうしてそんなことが分かるんだろう。

純真 やっぱりそう思うよね。今度会うときまで若葉さんも考えてみてよ。(本紙・荻野龍裕)

前坊守) 2024年8月11日 津村清信(和歌山組浄専寺・住職) 2024年9月19日 西村真一(有田南組證天寺・住職) 2024年11月2日 三原義弘(御坊組浄国寺・前住職) 2024年11月18日 篠原洋子(御坊組三明寺・坊守) 2025年1月2日

寺本澄子(加茂組教徳寺・前坊守) 2025年2月2日 三枝正憲(有賀組円照寺・住職) 2025年3月11日 岡村紗綺子(海南組福照寺・坊守) 2025年3月15日 川瀬良子(海南組教専寺・衆徒) 2025年3月22日 中谷眞作代(和歌山西組正

立寺・坊守) 2025年4月1日 亀井喜美子(有田北組西光寺・坊守) 2025年4月5日 寺本美子(加茂組教徳寺・坊守) 2025年4月7日 笠井智量(加茂組光福寺・前住職) 2025年4月8日

### 教務所・別院人事

▽2024年8月1日付 近藤生信(27歳、有田北組松林寺衆徒) ▽常勤職員。1年3カ月勤務した四州教区教務所・本願寺塩屋別院・本願寺高知別院から異動となりました。有田川町にあるお寺で生まれ育ち、鷲森別院は幼少期から住職である父に連れられ参拝したり、行事に参加したりとご縁の深い場所です。そんなご縁のある別院に奉職できることに感謝し、宗務に励ませていただきます」。

▽2025年9月1日付 藤井諦伸(30歳、海草組西方寺衆徒) ▽常勤職員。



◆組長(任期2024年4月1日～2028年3月31日)  
▽和歌山組Ⅱ得中茂(称名寺)▽和歌山東組Ⅱ林博行(教明寺)▽和歌山西組Ⅱ脇坂元信(光源寺)▽和歌山北組Ⅱ北本一紀(浄源寺)▽加茂組Ⅱ玉川俊哉(徳願寺)▽海南組Ⅱ和本正也(西法寺)▽海草組Ⅱ仲河泰秀(称名寺)▽伊那組Ⅱ藤範信介(光円寺)▽有賀組Ⅱ調智美(照圖寺)▽有田南組Ⅱ近藤信龍(興善寺)▽有田北組Ⅱ三浦良成(極楽寺)▽日高組Ⅱ永原智行(教導寺)▽御坊組Ⅱ青木和教(明鏡寺)▽眞田陵(紀南組浄行寺)  
※組長代表は永原智行師(日高組教導寺)  
◆教区会議員(任期2024年4月1日から2028年3月31日)  
▽和歌山組Ⅱ僧侶・佐々木敏宏(専養寺)、門徒・鈴木裕(宗善寺)▽和歌山東組Ⅱ僧侶・藤齋眞理(正願寺)、門徒・東岡百合子

(蓮光寺)▽和歌山西組Ⅱ僧侶・栗本滋博(法専寺)、門徒・松井憲男(西住寺)▽和歌山北組Ⅱ僧侶・武内善信(善勝寺)、門徒・保田史郎(浄源寺)、▽加茂組Ⅱ僧侶・中田周敬(徳應寺)、門徒・岡室一彦(青蓮寺)▽海南組Ⅱ僧侶・中岡俊樹(願成寺)、門徒・立花美一(浄國寺)▽海草組Ⅱ僧侶・稲垣貴史(蓮乗寺)、門徒・金谷善進(眞宗寺)▽伊那組Ⅱ僧侶・中田三恵(教善寺)、門徒・溝根央(浄願寺)▽有賀組Ⅱ僧侶・今井信正(天光寺)、門徒・山本喜久男(西方寺)▽有田南組Ⅱ僧侶・平林宗樹(福藏寺)、門徒・小川富弘(福藏寺)▽有田北組Ⅱ僧侶・川嶋周藏(光明寺)、門徒・佐々木勝(教念寺)▽日高組Ⅱ僧侶・藤本使朗(即生寺)、門徒・川崎英直(即生寺)▽御坊組Ⅱ僧侶・柳岡直樹(常照寺)、門徒・細谷廣延(専福寺)▽紀南組Ⅱ僧侶・北條一穂(妙道寺)、門徒・栗田勝

敏(妙道寺)  
※教区会議長は中田周敬師(加茂組徳應寺)、教区会副議長は溝根央氏(伊那組浄願寺)  
◆門徒総代会(任期2024年4月1日～2026年3月31日)  
▽会長Ⅱ田端三津雄(日高組宝国寺)▽副会長Ⅱ保田史郎(和歌山北組浄源寺)、金谷善進(海草組眞宗寺)▽会計Ⅱ山田英一(御坊組源行寺)▽監査Ⅱ太田雄造(和歌山組専念寺)、宗泰雄(有賀組正善寺)▽委員Ⅱ坂口功(和歌山東組西教寺)、松井憲男(和歌山西組西往寺)、岡室博和(加茂組青蓮寺)、北野治(海南組光徳寺)、谷口庄亮(伊那組西照寺)、中尾一平(有田南組極楽寺)、石津昭(有田北組浄満寺)、蒲田嵩(紀南組勝徳寺)  
◆門徒推進員連絡協議会(任期2024年4月1日～2026年3月31日)  
▽会長Ⅱ立花美一(海南組浄國寺)▽副会長Ⅱ新井

和美(和歌山西組正善寺)、道場雅夫(有田南本勝寺)▽監査Ⅱ内田孝(和歌山組本弘寺)、東山富子(有田北組浄念寺)▽理事Ⅱ小林勝司(和歌山組西慶寺)、尾崎好成(和歌山組法林寺)、保田史郎(和歌山北組浄源寺)、松井伸子(和歌山北組教願寺)、川崎英直(御坊組即生寺)、細谷廣延(御坊組専福寺)  
◆仏教婦人会連盟(任期2024年4月1日～2027年3月31日)  
▽委員長Ⅱ上岡しず江(有田北組西光寺)▽副委員長Ⅱ島村美穂(和歌山組・鷺森別院)、乙井八重子(和歌山東組正願寺)▽会計Ⅱ中野貞由美(加茂組教徳寺)、杉田奈津子(海南組教法寺)▽監査Ⅱ宮本理恵(和歌山西組法専寺)、山本尚子(和歌山北組慶圓寺)▽委員Ⅱ増井京子(海草組積善寺)、田中美和子(伊那組光円寺)、伊佐由美子(有賀組正善寺)、五島郁子(有田南組円光寺)、大井美田姫(日高組明寺)、古久保聡子(御坊組天性寺)、木下美鈴(紀南組満願寺)

◆少年連盟(任期2024年4月1日～2026年3月31日)  
▽委員長Ⅱ山本行圓(伊那組蓮乗寺)▽副委員長Ⅱ島晃祐(和歌山組西覺寺)▽会計Ⅱ長田義久(和歌山西組西勝寺)▽監査Ⅱ鈴木玲(和歌山北組蓮乗寺)▽委員Ⅱ西岡俊慶(和歌山東組西教寺)、森田知恵(加茂組正光寺)、小坂徳秀(海南組光明寺)、麻生卓(海草組法照寺)、玉川直城(有賀組西方寺)、板原充弘(有田南組円光寺)、菅原健(有田北組教蓮寺)、桒崎教信(日高組覺性寺)、川越顕之(御坊組正覺寺)、庵戸眞道(紀南組安樂寺)  
◆寺族女性会(任期2025年4月1日～2027年3月31日)  
▽委員長Ⅱ嶋順子(和歌山組専光寺)、▽副委員長Ⅱ森田知恵(加茂組正光寺)、刀禰佳登子(海草組積善寺)▽会計Ⅱ中山由理(和歌山北組光源寺)▽委員Ⅱ藤齊眞理(和歌山東組正願寺)、栗本杏代子(和歌山西組徳了賢寺)、藤川晶(伊那組

明光寺)、志場むつみ(有賀組正善寺)、池永弥生(有田南組安樂寺)、三浦郁美(有田北組極楽寺)、檀原きよ子(日高組妙願寺)、青木悦子(御坊組明鏡寺)、北條智佐子(紀南組妙道寺)  
◆寺族青年連盟(任期2025年4月1日～2027年3月31日)  
▽委員長Ⅱ辻本真一朗(和歌山組西念寺)▽副委員長Ⅱ藤本英史(和歌山北組正念寺)、山高貢平(伊那組玉川寺)▽会計Ⅱ佐々木実結(紀南組専光寺)▽監査Ⅱ山本龍法(和歌山北組浄永寺)、北山寛(有田南組最勝寺)▽委員Ⅱ西岡俊弥(和歌山東組西教寺)、藤下洗俊(和歌山西組正圓寺)、杉山龍法(和歌山北組永正寺)、齋藤亮太(加茂組青蓮寺)、荻野龍裕(海南組浄國寺)、岩清水成海(海草組西方寺)、宇多真海(伊那組光明寺)、茂野大五郎(有田北組浄念寺)、桒崎教信(日高組覺性寺)、川越顕之(御坊組正覺寺)  
※敬称略

組長・教区会議員・教区6団体委員が改選

和歌山教区の新期宗会議員決まる

皆さまのご支援のもと、宗会議員5期目の機会を頂きまして誠に感謝申し上げます。総局に入らせていただき、副総務、総務、総長、そして総務と4年半の期間、宗門の責任の一端を担ってまいりました。この間、宗派の財



荻野昭裕さん

政の健全化を図り、約5年かけて何とか収入と支出の均衡が保てるようになりました。しかし課題は山積しています。宗門の「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)の根幹には「人・心・愛・情熱」の四つの柱が不可欠であると考えています。なかでも「人」については、浄土真宗を次世代へ伝えていくため若年層の人材の育成が急務です。そのためにも微力ながら鋭意努力する所存ですので、皆さまのご指導・鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



立花美一さん

ています。その方策を宗門に問い掛け、門徒の立場で新たな発想を模索しながら取り組んでいきたいと思っています。

荻野議員は宗派総務・総長を歴任

荻野議員は宗派総務を務めていた2024年(令和6)3月8日、第323回

定期宗会において総長に選出された。和歌山教区からの総長誕生は初。これを受

け総長就任祝賀会が同5月31日にダイワロイネットホテル和歌山で開かれ、110人が参加。荻野議員は同12月20日まで総長を務めた。

2025(令和7)年度  
本願寺鷺森別院一般会計歳計予算

2025(令和7)年4月1日 ～2026(令和8)年3月31日			
歳入の部			
款	費目	予算額(円)	説明
1	懇志	8,500,000	各種懇志
2	回付金	5,710,000	特別会計・教区会計※より回付
3	各種交付金	200,000	教化助成費等
4	維持費	4,240,000	別院護持費等
5	負担金	30,100,000	人件費負担金※(教区・幼稚園)
6	雑収入	450,000	施設使用懇志等
7	前年度繰越金	18,500,000	2024年度より繰り越し見込み
合 計		67,700,000	

歳出の部			
款	費目	予算額(円)	説明
1	法務費	3,120,000	荘厳費、法要費
2	教化費	2,260,000	常例布教・各種教化費
3	事務費	45,650,000	人件費、水道光熱費等
4	会議費	100,000	責任役員・総代会費等
5	維持費	14,100,000	営繕費、保険料等
6	積立金	1,000,000	営繕積立金・退職積立金へ回付
7	予備費	1,470,000	
8	回付金	0	※費目削除
合 計		67,700,000	

※教区一般会計歳出の部「人件費」「水道光熱費、維持管理費」は、鷺森別院一般会計歳入の部「回付金」「人件費負担金」へ回付されます。

2025(令和7)年度  
和歌山教区一般会計歳計予算

2025(令和7)年4月1日 ～2026(令和8)年3月31日			
歳入の部			
款	費目	予算額(円)	説明
1	教区賦課金	32,890,000	教区賦課金 (276カ寺)
2	宗派交付金	1,980,000	各種宗派助成金
3	願記手数料	1,000,000	各種教区願記手数料
4	回付金	2,300,000	特別会計より回付
5	雑収入	3,080,000	各種研修会・行事参加費等
6	繰越金	3,350,000	2024年度より繰り越し見込み
7	繰入金	300,000	※費目新設
合 計		44,900,000	

歳出の部			
款	費目	予算額(円)	説明
1	実践運動推進費	10,020,000	実践運動関係費、組助成費等
2	会議費	870,000	教区会・組長会その他会議費
3	宗会選挙事務費	50,000	選挙管理委員会開催費
4	教務所費	28,580,000	人件費※、事務費、諸費等
5	維持費	2,700,000	水道光熱費※、維持管理費※
6	回付金	1,350,000	各種特別会計へ回付
7	予備費	1,330,000	
合 計		44,900,000	



和歌山教区では、宗門の総合基本計画に基づき、伝灯奉告法要のご親教「念仏者の生き方」に学び、自他ともに心豊かに生きることのできる社会をめざし、さらに僧侶・寺族・門信徒が手を携えて真の同朋教団・伝道教団としての責務を果たすため、また、寺院活動の活性化をはかり、ともに念仏を喜ぶ仲間の輪をひろげるため、次世代を担う人の育成を継続して行い「御同朋の社会をめざす運動」を展開いたします。

**スローガン**  
「結ぶ絆から、広がる縁へ」

**活動内容**  
運動推進にあたり、活動内容を具体的に明確化するため、教区の会議体、教化

2025年度  
重点プロジェクト

総合基本計画

団体、各種団体とともに、左記の専門部会を設置し、相互の連携のもとで運動の展開を図ります。

**研修部会** 僧侶・寺族の研修、伝道教化・法座活動の実践と支援に関すること。

**教化部会** 連研、門信徒の教化、子ども若者ご縁づくり推進に関すること。

**広報部会** 教区報・ホームページなど様々な媒体を使用した広報活動に関すること。

**社会部会** 人権啓発、平和問題への取り組み、社会福祉活動推進に関すること。

**重点プロジェクト**  
【重点プロジェクトについて】  
「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動) 総合基本計画に基づき、具体的な実践目標を定め取り組むものです。和歌山教区では、「重点プロジェクト」の

「実践目標」を「(1)〈貧困の克服に向けて〉Dana for World Peace」子どもたちを育むために」、「(2)寺院活動の活性化をはかる」と掲げ、組・寺院と連携しつつ、強力に取り組みを進めていきます。

**【推進期間】**  
2024(令和6)年度から2027(令和9)年度までの4年間

**【推進計画】**  
▼達成目標  
(1)募金箱の全力寺送付及び設置  
(2)多様な手段を通じて寺院からの情報発信力の強化(寺報・教区報・掲示板・SNS等)  
▼推進計画  
(1)前年度の見直し  
(2)門信徒学習会の開催

**推進機関**  
【名称】  
「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動) 和歌山教区委員会  
【委員】  
▽委員長 永原智行(日高組教導寺)  
▽副委員長 玉置澄(和歌山組養尊寺)、立花美一

(海南組浄國寺)  
▽中央委員 永原智行(日高組教導寺)  
▽研修部会 北本一紀(部会長・和歌山北組浄源寺)、島和夫(和歌山組西覺寺)、西永月潭(和歌山組西教寺)、伊井智雄(和歌山組極楽寺)、中牟田貞良(和歌山東組開光寺)、寺本泰宣(加茂組教徳寺)、調智美(有賀組照圓寺)、川嶋周藏(有田北組光明寺)、楠原晃紹(日高組妙願寺)、岩崎法明(日高組蓮尊寺)、玉置信夫(御坊組光徳寺)  
▽教化部会 山本行圓(部会長・伊那組蓮乗寺)、加藤義秀(海南組光徳寺)、荻野真由美(海南組浄國寺)、立花美一(海南組浄國寺)、岩清水昌子(海草組西方寺)、前川幸三(伊那組西照寺)、上岡しず江(有田北組西光寺)、田端三津雄(日高組宝国寺)、大岡和真(教区仏教青年連盟委員長)  
▽広報部会 板原充弘(部会長・有田組出光寺)、玉置澄(和歌山組養尊寺)、辻本真一朗(和歌山組西念寺)、大須賀拓善(和歌山組法林寺)、幸馬昌史(和歌山西組正善寺)、横出顕悟(和歌山北組教願寺)、

荻野龍裕(海南組浄國寺)、庵戸眞道(紀南組安樂寺)  
▽社会部会 島和夫(部会長・和歌山組西覺寺)、西永由子(和歌山組西教寺)、吉田敬子(和歌山東組正善寺)、北本一紀(和歌山北組浄源寺)、松本教智(海南組了賢寺)、中田三恵介(伊那組教善寺)、藤範信介(伊那組光円寺)、宇多光誠(伊那組光明寺) ※敬称略

**各組の実践目標**  
▽和歌山組 研修会を開催し、貧困問題について学びを深める。組内全力寺にて「子どもたちの笑顔のために募金」を奨励する。  
▽和歌山東組 子どもの育成支援に取り組む。  
▽和歌山西組 組内全力寺にて「子どもたちの笑顔のために募金」を奨励する。  
▽和歌山北組 寺院活性化を目指す。  
▽加茂組 下津町の子ども食堂(下津保健福祉センター)の活動を見学、参加する。おてらおやつクラブの仕組みを実践者の徳願寺坊守から説明を受ける。光輪寺住職が参加する、ビハール活動の実際をまとめた資料

▽海南組 研修会を開催。今私が出来ることが始める。募金活動の奨励。  
▽海草組 研修会を開催し、貧困問題について学びを深める。組内全力寺にて「子どもたちの笑顔のために募金」を奨励する。  
▽伊那組 研修会を開催し、貧困問題について学びを深める。組内全力寺にて「子どもたちの笑顔のために募金」を奨励する。  
▽有田北組 貧困の克服に向けて「Dana for World Peace」子どもたちを育むためにご縁を深め、聴聞の機会を通して念仏者としての生き方を考える。非戦平和について考える。  
▽日高組 貧困の克服に向けて。  
▽御坊組 各寺院の護持発展のため僧侶・門信徒の交流を深める取り組み。  
▽紀南組 みんなで集まろう。広域組における活動再開。

鷺森別院で行われた主な法要・行事・研修会

2023年6月下旬〜2025年7月

2023年(令和5)  
6月25日 ビハールサロン「おしゃべりカフェひだまり」。8月21日、12月4日にも開催。  
6月29日 教区寺族青年連盟研修会(オンライン併用)。講師・若新雄純さん(株)NEWYOUTH代表取締役、慶應義塾大学特任准教授※いずれも当時、真宗山元派僧侶)「思春期を引きずる中年男子とお寺の不思議な関係」※オンラインで講義。参加者8人。  
7月8日 教区仏教青年連盟「TEAMATE」ボードゲーム会。参加者7人。9月9日(参加者7人)、11月11日(9人)、12月9日(6人)にも開催。  
7月9日 第30回平和を希う念仏者の集い、全戦没者追悼法要。講師・木川剛志さん(和歌山大学観光学部教授)「私が和歌山の空襲、戦争の研究を続ける理由」今、聞き、語り継がなければならないこと」参加者96人。  
7月21日 公聴会(本山とオンラインで結び北海道

教区・高岡教区と同時開催)。宗派出向者・荻野昭裕さん(総務※当時、海南組浄國寺住職)、三好慶祐さん(総務※当時)、加藤尚史さん(副総務※当時)ほか。参加者37人。  
10月6日 第3ブロック少年連盟指導者研修会。講師・吉村春生さん(西九州大学非常勤講師、佐賀県医療センター好生館看護学院非常勤講師)「心がかぜをひくとき」安心感」と自立」。参加者31人(和歌山教区から11人)。  
10月10日 教区布教団研修会(オンライン併用)。講師・佐々木義英さん(浄土真宗本願寺派総合研究所元副所長)「浄土真宗の源流」。参加者16人。  
10月27日 実践運動「人権啓発僧侶研修会」。映画『ドキュメンタリー沖縄戦』知られざる悲しみの記憶』上映。参加者20人。  
11月22日〜12月11日 教区少年連盟「第26回子ども作品展」。教区内児童・生徒98人から書道86点、絵画1点、塗り絵25点の合計1

12点応募。入賞者は【書道の部】▽本願寺鷺森別院賞▽下原芽衣、村松怜奈▽輪番賞▽川取明咲、西村魁人▽少年連盟特別賞▽池長瑞華、石田心路、石田慈、滝本果穂、中本葵、西村魁人、前田恵依、安村実莉、山尾奏斗、湯浅咲、湯浅結月。【絵画の部】▽本願寺鷺森別院賞▽中本校。【塗り絵の部】▽本願寺鷺森別院賞▽樋尻百花▽輪番賞▽浦崎えま▽少年連盟特別賞▽川嶌きお、山本実里。※敬称略。  
11月24〜28日 報恩講。講師・柱本惇さん(京都教区下東組明覚寺)。11月27日「通夜布教」に教区布教団から山本行圓さん(伊那組蓮乗寺)、清水光宣さん(御坊組専福寺)、藤田眞雄さん(日高組西教寺)が出講。  
11月26日 責任役員・門徒総代辞令伝達式。参加者67人(16力寺)。※対象は2023年(令和5)4月1日から9月30日までに申請して責任役員・門徒総代になられた方。  
12月15日 本願寺派仏教章取得のための研修会(ボードゲーム会)。参加者

イスカウト団員対象)。講師は教区寺族青年会連盟委員。参加者2人。12月22日、2024年(令和6)1月12日、1月19日、1月26日にも開催。  
2024年(令和6)  
1月20日 教区門徒総代会「鷺森別院清掃奉仕」。参加者28人。  
1月23日 教区寺族女性会研修会。講師・西永亜紀子さん(和歌山組西教寺衆徒、築地本願寺SDGsおてらネットワーク代表)「SDGsについて考えよう」ジェンダー平等等」。参加者46人。  
1月29日 教区布教団連統法座(オンライン併用)。講師・内藤昭文さん(本願寺派司教・布教使)「仏説無量寿経」に聞く」。参加者12人。2月22日(参加者13人)、3月26日(16人)にも開催。  
2月7日 新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)学習会。宗派出向者・公文名正真さん(総務※当時)、満井秀城さん(勸学、総合研究所所長※当時)、中井真人さん(統合企画室幹事)。参加者41人。  
2月10日 教区仏教青年連盟「TEAMATE」ボードゲーム会。参加者

7人。5月11日(参加者1人)、6月8日(5人)、7月13日(5人)、8月10日(6人)、9月14日(11人)、10月12日(8人)、11月9日(7人)、12月14日(7人)にも開催。  
3月11日 ビハール和歌山公開研修会。講師・黒川雅代子(龍谷大学短期大学部教授)「遺族ケア」大切に關わるために」。参加者23人。  
2月26日 ビハールサロン「おしゃべりカフェひだまり」。4月8日、6月10日、8月1日、10月8日、12月2日にも開催。  
5月13〜16日 二尊会。講師・藤満智徳さん(奈良教区広瀬組光徳寺)。5月18日 初参式。受式者2人。  
5月18日 宗祖降誕会。講師・澄川緑乃さん(奈良教区広瀬組善巧寺)。  
6月2日 賦課基準総局試案説明会。参加寺院175力寺(63%)。  
6月3日 勤式講習会。参加者9人。6月10日(参加者4人)、7月3日(11人)、9月5日(7人)、10月3日(4人)にも開催。  
6月19〜21日 得度講習会・考査。参加者4人。  
7月9日 第31回平和を

希う念仏者の集い、全戦没者追悼法要。講師・志賀賢治氏(元広島県平和記念資料館館長)「原爆がもたらしたもの、奪ったもの」「記憶の博物館」の軌跡と課題」。参拝者65人。  
7月19日 特別法務員並びに法務員研修会。講師・三上慧さん(本願寺式務部職員)「新制御本典作法について」。参加者10人。  
8月1日 公聴会。宗派出向者・荻野昭裕さん(総務※当時、海南組浄國寺住職)、中井真人さん(社会部長・所務部長)。参加者63人。  
11月24日〜12月9日 教区少年連盟「第27回子ども作品展」。教区内児童・生徒98人から書道90点、絵画2点、塗り絵29点の合計121点応募。入賞者は【書道の部】▽本願寺鷺森別院賞▽鈴木結空、西村魁人▽輪番賞▽中本校、西村奏音▽少年連盟特別賞▽石田心路、小野美咲、久堀彩夢、小山予紫乃、嶋藤慧、下原優芽、高戸音葉、中本葵、長谷川唯花、村松怜奈、山尾奏斗、湯浅英己。【絵画の部】▽本願寺鷺森別院賞▽中本校▽少年連盟特別賞▽西村奏音。【塗り絵の部】▽本願寺鷺森別院賞▽庄田



平和花▽輪番賞Ⅱ森みおな▽少年連盟特別賞Ⅱ国本陽葵、熊代瑛斗、福原ほのか、山本きはる、山本実里。※敬称略。

11月24〜28日 報恩講。講師・岡橋聖母さん（京都教区城南組西方寺）。11月27日「通夜布教」に教区布教団から岩清成海さん（海草組西方寺）、岩崎信さん（日高組蓮専寺）、寺本泰宣さん（加茂組教徳寺）が出講。

11月26日 責任役員・門徒総代辞令伝達式。参加者67人（16力寺）。※対象は2024年（令和6）4月1日から9月30日までに申請して責任役員・門徒総代になられた方。

■2025年（令和7）■  
1月11日 教区仏教青年連盟「T.E.R.A.M.A.T.E.ボードゲーム会」。参加者5人。2月8日（参加者9人）、5月10日（7人）、6月14日（7人）、7月12日（4人）、8月9日（不明）、9月13日（10人）にも開催。

1月20日 実践運動「人權啓発僧侶研修会」。講師・部正永さん（一般財団法人同和教育振興会講師団講師・京都教区下東組西方寺）「過去帳又はこれに類する

帳簿の取り扱いについて」。参加者15人。

1月22日 教区布教団連統法座。講師・内藤昭文さん（本願寺派司教・布教使）。「仏説無量壽経」に聞く。参加者9人。7月17日（参加者13人）にも開催。

1月27日 近畿ブロック寺族婦人研修会（和歌山教区担当）。講師・露の団姫さん（落語家・天台景僧侶）、野世貞隆さん（大阪教区住吉組光陽寺）「前に生まれん者は後を導き、後に生まれん者は前を訪え」。参加者239人（和歌山教区56人）。

1月30日 実践運動「僧侶・寺族研修会」。講師・井上見淳さん（浄土真宗本願寺派司教、興台大学教授）「小児往生について考える〜江戸時代の論争に学ぶ〜」。参加者27人。

2月1日 2024年度第1ブロック（和歌山組・和歌山東組・和歌山西組・和歌山北組・海草組・伊那組）門信徒総研修会（聞法の集い）。講師・野村淳爾さん（浄土真宗本願寺派総合研究所研究員）。参加者28人。

3月7日 教区門徒総代会「鷲森別院清掃奉仕」。参加者38人。

3月8日 第3連区門徒推進員実践運動研修会（和歌山教区担当）。講師・中川大城さん（奈良教区葛城北組無量寺）。「念仏者の生き方」について学びを深める〜親鸞聖人のお教えを依りどころに生きる〜。参加者83人（和歌山教区13人）。

2月23日 ビハーラサロ

ン「おしゃべりカフェひだまり」。4月3日、6月5日、8月7日にも開催。

4月21日 勤式講習会。参加者3人。5月19日（参加者1人）、7月17日（7人）にも開催。

5月13〜16日 二尊会。講師・石崎博敍さん（大阪教区天野南組大円寺）。5月18日 初参式。受式

ン「おしゃべりカフェひだまり」。4月3日、6月5日、8月7日にも開催。

4月21日 勤式講習会。参加者3人。5月19日（参加者1人）、7月17日（7人）にも開催。

5月13〜16日 二尊会。講師・石崎博敍さん（大阪教区天野南組大円寺）。5月18日 初参式。受式

度で7回目。今回届けたのは、野菜（サツマイモなど）、果物、スイカ、そうめん、菓子（クッキー、ポテトチップスなど）、フルーツ缶、ジュース、カルルス、調味料、ペーパータオルなど（写真）。

参加。2日目はお晨朝参拝に始まり、大谷光淳門主とのご面接・記念撮影も。帰りは京都水族館を見学した。



研修と修了式を鷲森別院本堂で行った。同組では第7期連研を2019年（平成31）3月9日に終えたが、折からの新型コロナウイルスの影響で約4年半は休止。ようやく2023年（令和5）9月17日に第8期をスタートし、2カ月一度の研修を12回重ね、この日を迎えた。

研修では連研中央講師の石崎博敍さん（堺市大円寺住職）が「門徒推進員中央教修について」と題して講義。受講者は西本願寺での中央教修を紹介するDVDも視聴し、関心を深めた。修了式では28人が得中茂組長から修了証を受け取り、「ご本山で3泊4日の中央教修を受けられ、ぜひ門徒推進員になってください」と、得中組長から激励を受けた。

2023(令和5)年度 本願寺鷲森別院一般会計歳計決算			
2023(令和5)年4月1日 ～2024(令和6)年3月31日			
歳入の部			
款	費目	決算額(円)	説明
1	懇志	8,881,371	各種懇志
2	回付金	3,755,221	特別会計・教区会計より回付
3	各種交付金	32,000	教化助成費等
4	維持費	4,146,970	別院護持費等
5	負担金	25,167,200	人件費負担金(教区・幼稚園より)
6	雑収入	1,960,184	施設使用懇志等
7	前年度繰越金	17,232,212	2022年度より繰り越し
合 計		61,175,158	

歳出の部			
款	費目	決算額(円)	説明
1	法務費	2,063,279	荘厳費、法要費
2	教化費	1,035,740	常例布教・各種教化費
3	事務費	30,302,847	人件費、水道光熱費等
4	会議費	10,591	責任役員・総代会費
5	維持費	4,753,141	営繕費、保険料
6	積立金	1,000,000	営繕積立金、退職積立金
7	予備費	50,000	
合 計		39,215,598	

※歳入合計から歳出合計を差し引いた21,959,560円は2024年度へ繰り越し

2024(令和6)年度 本願寺鷲森別院一般会計歳計決算			
2024(令和6)年4月1日 ～2025(令和7)年3月31日			
歳入の部			
款	費目	決算額(円)	説明
1	懇志	10,497,122	各種懇志
2	回付金	6,888,000	特別会計・教区会計より回付
3	各種交付金	0	教化助成費等
4	維持費	4,167,570	別院護持費等
5	負担金	29,167,200	人件費負担金(教区・幼稚園より)
6	雑収入	1,022,823	施設使用懇志等
7	前年度繰越金	21,959,560	2023年度より繰り越し
合 計		73,702,275	

歳出の部			
款	費目	決算額(円)	説明
1	法務費	3,153,383	荘厳費、法要費
2	教化費	1,481,288	常例布教・各種教化費
3	事務費	42,415,428	人件費、水道光熱費等
4	会議費	23,600	責任役員・総代会費等
5	維持費	12,366,409	営繕費、保険料等
6	積立金	2,000,000	営繕積立金・退職積立金へ回付
7	回付金	1,500,000	教区一般会計へ回付
8	予備費	0	
合 計		62,940,108	

※歳入合計から歳出合計を差し引いた10,762,167円は2025年度へ繰り越し

2023(令和5)年度 和歌山教区一般会計歳計決算			
2023(令和5)年4月1日 ～2024(令和6)年3月31日			
歳入の部			
款	費目	決算額(円)	説明
1	教区賦課金	32,447,477	教区賦課金
2	宗派交付金	1,923,040	各種宗派助成金
3	願記手数料	936,500	願記手数料(教区分)
4	回付金	0	
5	雑収入	1,321,049	冊子売上金、預金利息等
6	繰越金	2,834,208	2022年度より繰り越し
合 計		39,462,274	

歳出の部			
款	費目	決算額(円)	説明
1	実践運動推進費	5,702,347	実践運動関係費、組助成費等
2	会議費	314,347	教区会・組長会、その他会議費
3	宗会選挙事務費	0	選挙管理委員会開催費
4	教務所費	23,375,488	人件費、事務費、負担金
5	維持費	2,943,440	水道光熱費、維持管理費
6	回付金	560,000	各種特別会計へ回付
7	予備費	58,040	
合 計		32,953,662	

※歳入合計から歳出合計を差し引いた6,508,612円は2024年度へ繰り越し

2024(令和6)年度 和歌山教区一般会計歳計決算			
2024(令和6)年4月1日 ～2025(令和7)年3月31日			
歳入の部			
款	費目	決算額(円)	説明
1	教区賦課金	31,813,263	教区賦課金
2	宗派交付金	2,403,220	各種宗派助成金
3	願記手数料	854,000	各種教区願記手数料
4	回付金	4,500,000	
5	雑収入	2,136,603	冊子売上金、預金利息等
6	繰越金	6,508,612	2023年度より繰り越し
合 計		48,215,698	

歳出の部			
款	費目	決算額(円)	説明
1	実践運動推進費	7,374,971	実践運動関係費、組助成費等
2	会議費	686,891	教区会・組長会、その他会議費
3	宗会選挙事務費	109,574	選挙管理委員会開催費
4	教務所費	28,539,644	人件費、事務費、諸費等
5	維持費	2,658,000	水道光熱費、維持管理費
6	回付金	4,750,000	各種特別会計等へ回付
7	予備費	49,351	
合 計		44,168,431	

※歳入合計から歳出合計を差し引いた4,047,267円は2025年度へ繰り越し



# お念仏にあえた有り難さ、味わう

# 親鸞聖人の生涯と鷺森別院の歴史学んだ2日間

練習重ね、新しいお勤めに挑戦

昨年11月24、25両日、午後1時30分からの「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要 本願寺鷺森別院本堂再建30周年記念法要」は、升巴信隆、輪番が導師を務め、教区内14組からそれぞれ一人と有志僧侶数人が出勤、雅楽の演奏も加わり、盛大に勤められた。



という新しい節のため、法  
要に出勤する僧侶にとって  
は大きな挑戦となった。

ら取られ、節は、日本の声  
明みやうの源流である大原声  
明きやう（魚山声明）の節回しが積  
極的に取り入れられている  
「正信念仏偈」の部分も  
普段お勤めする草譜そうふや行譜ぎょうふ  
とはまったく違う「和讃譜」

升巴信隆輪番

別院職員も10月3日から11月22日まで16回（1回2人ずつ）ものお勤めの自主練習を重ね、当日に臨んだ。

そのかいもあり、法要では新鮮で厳かなお勤めの響きが本堂を彩った。初日は81人、2日目は73人が参拝

法要のあとは記念講演。初日は、真宗史に詳しく『雑質一向一揆と紀伊真宗』（法藏館）の著書もある武内善信さん（和歌山市小豆島・善勝寺住職、元和歌山市立博物館主任学芸員）による「紀伊真宗と鷺森御坊の歴史」。

を実感されるなかで、火事に遭い、また息子さんと絶縁せざるを得なくなるなどの厳しい境遇にありながら84歳から85歳にかけて師である法然聖人の言行録『西方指南抄』をまとめられ、86歳で『正像末和讃』を書かれたのは、とてもできることではない。親鸞聖人は



迦陵頻伽さぎのりのコーラス

「表現する」ことによって、  
厳しい晩年を生き抜かれた  
のではないかと話した。  
初日は「帰敬式（きけいしき）（おか  
みそり）」が午前9時から  
と1時から本堂で執り行わ  
れ、1回目は65人、2回目  
は148人、合わせて21  
3人が受式。

境内では「ミートアップ」がピザを、「雑貨と珈琲まめどき」がコーヒ―を販売、和歌山刑務所のキャピック展も開かれ、にぎわった。

組や寺院単位でも  
慶讃法要勤める

左記の組と一般寺院でも「親皇軍人御誕生850年・立教開示800年慶讃法要」が勤められた(寺院は9月15日まで)に組から報告分)。

▼海草組(長谷川義昭組長※当時)≡2023年(令和5)7月8日、会場：同組報徳寺(和歌山市井ノ口)。

本堂外陣を刷新、記念事業でトイレ改修

法要の記念事業として、老朽化が進み水漏れ箇所も発生していた鷺森別院内のトイレ（1階男性用・女性用・多目的、1階輪番室）の改修工事を昨年10月1日

から11月5日まで行った。  
4 社入札の結果、正真建設  
株式会社（和歌山市出口中  
ノ丁33）が1300万円で  
施工。  
これに併せて本堂と建物

内の一部改修工事を鷺森別院一般会計の宮繕費によって行った。

本堂はこれまで畳敷きだった外陣（参拝席）をタイルカーペット敷きに改修し、

イスを設置。これにより履物をはいたまま参拝できるようになった。

ご本尊を安置している本堂内陣、また内陣両側の余間、内外陣という参拝席より一段高い場所は従来通り畳敷きだが、すべての畳を張り替えた。

その工事として、本堂外陣の畳撤去と91枚の畳の張り替えは、3社入札の結果山哲畳商店（和歌山市島崎町1丁目83）が115万8872円で請け負い、昨年9月24日から11月1日まで作業を行った。

外陣の畳を撤去したあとに床板を張り、タイルカーペットを敷く工事については、3社入札の結果、いくお工務店株式会社(紀の川市竹房779)が、昨年10月7日から20日まで200万円で施工。

教区内寺院に  
懇志を依頼

記念事業のため和歌山教区内各寺院あてに1万寺5万円以上（任職懇志1万円含む）の懇志を依頼したところ、昨年8月15日から今年3月31日までの受付期間に、180万寺（65%）と個人12人、3団体から合わせて111万8500円の進納を頂いた。



A street food vendor, wearing a brown jacket and a hat, is serving customers from a white van. The van is parked on a street, and a wooden counter is attached to its side. Two customers, a man and a woman, are standing in front of the counter. The van has a sign that says "TOKYO" and "JAPANESE" on it. The background shows a residential area with houses and trees.

同寺院（和歌山市新魚町）。